

第 32 回

パチンコ景気動向指数 (DI)

調査結果

DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、平成 12 年 6 月より四半期 (3、6、9、12 月) ごとに実施している調査。

本調査は、95 年より継続実施しているファン対象調査である「パチンコ参加実態調査」と同様に、株式会社エース電研グループの支援により、株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所が企画・実施いたしました。

今回の調査について

1. 調査対象： A c l u b 会員 (エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員) ほか、全国の有力パチンコ店経営企業。
日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会の調査協力を得て実施。
2. 実施時期： 2008 年 3 月 14 日 ~ 2008 年 3 月 25 日
3. 調査方法： F A X にて送付・回答
4. 回収状況： 有効回収数 90 社

2008 年 3 月

調査結果のポイント

全般的概況は 8.0 と大幅に好転

現況(平成 20 年 3 月)の各社の業況判断DI値は、8.0 と前回 12 月調査時のマイナス 31.8 から、39.8 ポイントの改善となった。

見通し(3ヶ月後)については、7.9 と先行き見通しも徐々に明るいものとなっている。

< 中小規模事業者で現況大きく、見通しは各規模で悪化 >

小規模事業者でDI値マイナス 19.2 と前回から 37.3 ポイントの改善。中規模事業者でDI値 ± 0.0 と前回から 47.1 ポイントの改善。大規模事業者はDI値 29.2 と前回から 22.1 ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス 19.2)、中規模事業者(± 0.0)、大規模事業者(29.2)と、各規模事業者ともに現況と同数値となっている。

パチンコは大幅改善、昨年 3 月期を上回る

パチンコの稼動状況のDI値は、前回のマイナス 9.5 から 28.7 と 38.2 ポイントの大幅改善となった。見通し(3ヶ月後)では、マイナス 15.9 となっており、先行きにはやや不安を残している。

前 12 月期と比べると、小規模事業者は 40.9 ポイントの改善、中規模事業者は 44.6 ポイントの改善、大規模事業者は 21.4 ポイントの改善となっている。

先行き見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス 4.0)、中規模事業者(12.5)、大規模事業者(29.2)と、各規模事業者ともに現況よりやや低い数値となっている。

パチスロは数値改善するも、現況・見通しにともに厳しさ

パチスロの稼動状況のDI値は、前回のマイナス 50.6 からマイナス 33.3 と 17.3 ポイントの改善となっているが、低い数値で推移している。見通し(3ヶ月後)は、マイナス 39.8 と、厳しさを残している。

前 12 月期と比べると、小規模事業者は 18.0 ポイントの改善、中規模事業者は 29.0 ポイントの改善、大規模事業者は 4.5 ポイントの悪化となっている。

先行き見通しについては、各規模事業者ともに厳しい数値を予測。小規模事業者ではマイナス 36.0、中規模事業者ではマイナス 52.5、大規模事業者もマイナス 31.3 となっている。

平成 20 年度正社員採用は、中・大規模事業者で活発も、「質」、「量」とともに確保は 1 / 4 に留まる

平成 20 年度の正社員の人材採用にあたっては、「新卒採用」から「アルバイトからの採用」までの各対象について、中規模事業者では 5 割以上の企業が、大規模事業者では 7 割前後以上で採用活動を実施している。

実際に採用に結びついた人材の「質と量の確保」については、「質」と「量」とともに予定通り確保できた企業は、1 / 4 にとどまっている。

採用期間や費用等の活動結果については、「当初の計画通りに実施できた」は 4 割弱。6 割の企業で、計画よりも多くの時間や費用がかかる結果となっている。

景況キーワード







参加人口回復に向け、求められる「一枚岩」での取組み

参加人口の回復に向けて、『経費(特に機械代)がかかりすぎて、日々の経営を圧迫している。企業努力だけでどうにもならない面が出てきている。』といったように、店の努力だけでは補えない面については、メーカーの理解を得て、遊技台の価格抑制を切望する声が多くあげられている。業界を挙げての取組が望まれている。

店舗の努力に加えて、メーカー対応の変化求める声強い






『ホールはES、CSを重視して変わったホールだけが生き残っているが、メーカーはES、CSを考えようとはしないのだろうか?』や『メーカー主導の機械販売で、必要ない機械まで買わされ、ホール側だけが負担増。』のように、機械代の高騰や現況の販売形態では、店舗経営が苦しくなり、業界全体の衰退につながるとの危機感を募らせている。

< 主要指標 パチンコ業界全体 >

項目	D.I. 値			業界天気		コメント
	前回現状	現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	-31.8	8.0	7.9	 ⇨ 	全般的業況は雷雨から曇りへと好転。見通も曇りを維持。	
2. 稼働状況(パチンコ)	-9.5	28.7	15.9	 ⇨ 	現況は薄曇りに改善。先行き見通は数値悪化も薄曇りを維持。	
3. 稼働状況(パチスロ)	-50.6	-33.3	-39.8	 ⇨ 	現況は数値改善も引き続き雷雨。先行き見通しも数値悪化で雷雨。	
4. 資本投入気運の変化(台)	-6.0	9.2	15.9	 ⇨ 	現況は曇りを維持。見通しは、薄曇りに。	
5. 資本投入気運の変化(設備)	-26.9	4.7	9.4	 ⇨ 	現況は雨から曇りに改善。見通も曇りを維持。	
6. 営業用設備の不足感	-2.4	3.5	6.1	 ⇨ 	設備不足感は横ばい。見通しも小康状態を保つ。	
7. 雇用人員の不足感	35.3	46.5	42.1	 ⇨ 	人材不足感はまだ高い。見通しも横ばい。	

注：前回現状は2007年12調査時の結果

天気記号使用基準

記号	数値	記号	数値
 晴れ	30.0 ~	 雨	-29.9 ~ -10.0
 薄曇り	10.0 ~ 29.9	 雷雨	~ -30.0
 曇り	-9.9 ~ 9.9		

全般的概要 - 業況

業況判断DI値は8.0と大幅に好転、2002年3月期以来のプラス数値

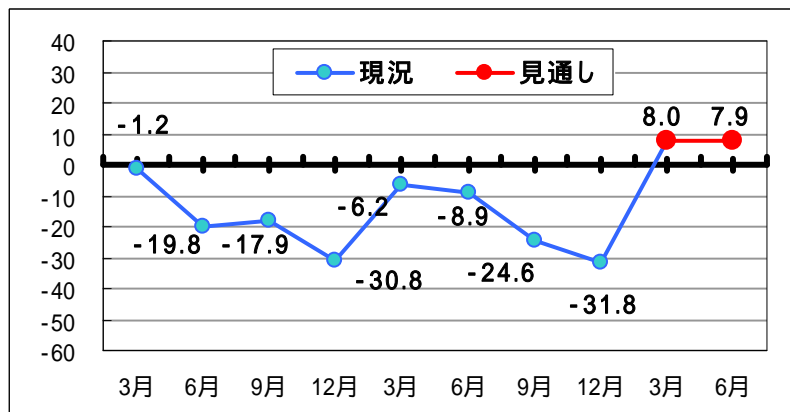
現況(平成20年3月の業況判断)は「良い」が18.6ポイント増加して29.2%となり、「悪い」が21.2ポイント減少して21.2%となり、DI指数は8.0と前回のマイナス31.8から、39.8ポイントの大幅改善となった。業況判断DI値がプラスとなるのは、2002年3月期以来、実に6年ぶりとなる。

見通し(3ヶ月後)については、7.9と先行き見通しも久々に明るいものとなっている。

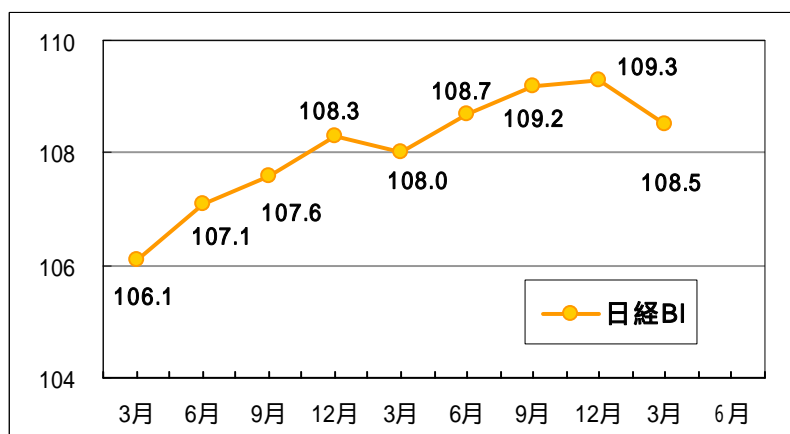
代表的な民間の景気動向指数である「日経BI」1月速報値は108.5(2000年平均=100)と前月を0.4ポイント下回った。

1月は日経BIを構成する4指標のうち鉱工業生産と所定外労働時間が悪化した。有効求人倍率は前月から変わらず、商業販売額は増加した。

< 現況の推移と見通し >



< 日経景気インデックスデータ (日経BI) >



インデックスデータは、1 - 3月の平均を3月に示した。直近の3月は1月速報値。

日経景気インデックス (日経BI)

景気動向を反映する生産、需要、所得、労働の4つの側面を代表する指標(鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率)から共通する「景気の波」を抽出したものである。「景気」そのものの変化方向と水準を表す。構成要素の4指標はすべて翌月末までに公表されるため速報性に優れている。
BIはビジネス・インデックス(Business Index)の略。(2000年平均=100)

全般的概況 - 判断理由と経営上の課題

『来店客数』の増・減が業況好悪の鍵握る

業況判断を「悪い」(21.2%)と下した理由は、『来店客数の減少』(70.0%)、『店舗数の増加』(15.0%)などが上位を占めている。

『店舗数の増加』は、前12月期の6.3%より8.7ポイントの上昇となっている。店舗数が増えて、競合環境が変わることで、『来店客数の減少』が前12月期の56.3%より13.7ポイントの上昇となっている。

一方で、業況判断を「良い」と下した理由では、『来店客数の増加』(85.0%)が圧倒的な1位となっている。

中小規模事業者では『設備・運営費の増加』が上昇、大規模事業者では『時間帯・曜日などの客の偏り』が上昇

経営上の問題点で、全体で前回より回答率が上昇したのは『設備・運営費の増加』(34.8%:8.7ポイント上昇)となっている。事業者の規模別にみると、中・小規模店舗では15~16%の上昇と大幅な上昇となっている。

大規模事業者では、『時間帯・曜日などの客の偏り』(17.4%)で17.4ポイント上昇している。

< 経営上の課題 >

項目	全体 (9月)	全体 (12月)	全体 (3月)	小規模 事業者	中規模 事業者	大規模 事業者
人材教育・育成	43.8%	47.8%	50.6%	42.3%	57.5%	47.8%
他の同業他社との競争激化	39.6%	42.0%	47.2%	53.8%	42.5%	47.8%
人材不足・人材確保	39.6%	37.7%	42.7%	34.6%	50.0%	39.1%
設備・運営費の増加	35.4%	26.1%	34.8%	38.5%	40.0%	21.7%
資金調達	35.4%	26.1%	32.6%	46.2%	25.0%	30.4%
公的な規制	27.1%	24.6%	20.2%	15.4%	17.5%	30.4%
不明瞭な行政指導	25.0%	21.7%	19.1%	11.5%	27.5%	13.0%
時間帯・曜日などの客の偏り	4.2%	10.1%	15.7%	19.2%	12.5%	17.4%
人件費の増加	18.8%	11.6%	14.6%	11.5%	20.0%	8.7%
組合の自主規制	0.0%	11.6%	5.6%	3.8%	10.0%	0.0%
料金改定が困難	4.2%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

全般的概要 - 稼働状況

パチンコ現況は大幅改善、昨年 3 月期を上回る

現況の稼働状況は 28.7 と、前回のマイナス 9.5 から 38.2 ポイントの大幅改善となった。1 年前の 3 月期の 15.4 と比べても 13.3 ポイント高い数値である。

見通し(3ヵ月後)は 15.9 となっており、先行きにはやや不安を残している。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店保有)が±0.0、中規模事業者(4~10店舗)が 22.0、大規模事業者(11店舗以上保有)が 50.0 となっている。

前 12 月期と比べると、小規模事業者は 40.9 ポイントの改善、中規模事業者は 44.6 ポイントの改善、大規模事業者は 21.4 ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス 4.0)、中規模事業者(12.5)、大規模事業者(29.2)と、各規模事業者ともに現況よりやや低い数値となっている。

パチスロは数値改善するも、現況・見通しともに厳しさ

現況の稼働状況は、マイナス 33.3 と、前回のマイナス 50.6 から 17.3 ポイントの改善となっているが、低い数値で推移している。

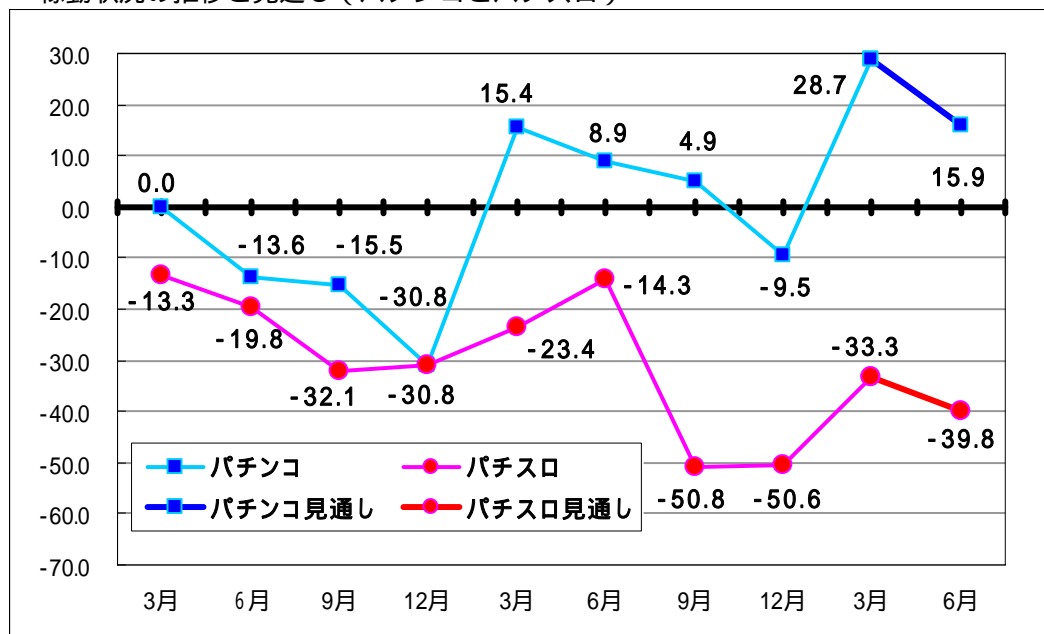
見通し(3ヶ月後)は、マイナス 39.8 と、厳しさを残している。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店保有)がマイナス 38.5、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス 47.5、大規模事業者(11店舗以上保有)がマイナス 18.8 となっている。

前 12 月期と比べると、小規模事業者は 18.0 ポイントの改善、中規模事業者は 29.0 ポイントの改善、大規模事業者は 4.5 ポイントの悪化となっている。

先行き見通しについては、各規模事業者ともに厳しい数値を予測。小規模事業者ではマイナス 36.0、中規模事業者ではマイナス 52.5、大規模事業者もマイナス 31.3 となっている。

< 稼働状況の推移と見通し(パチンコとパチスロ) >



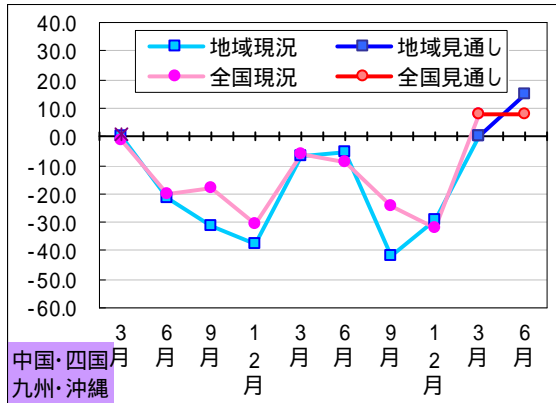
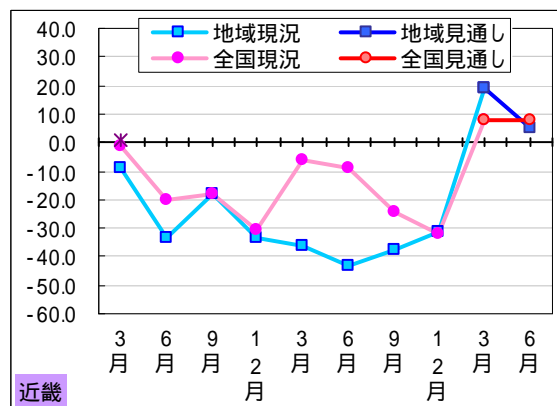
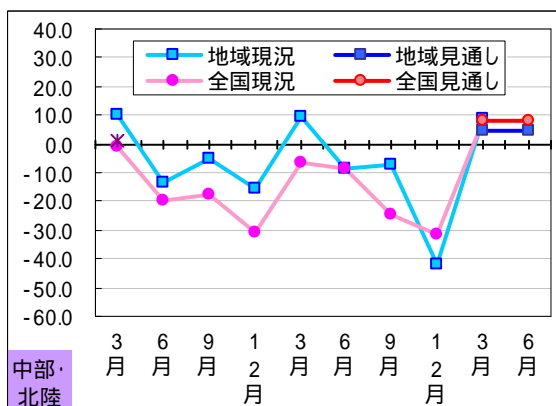
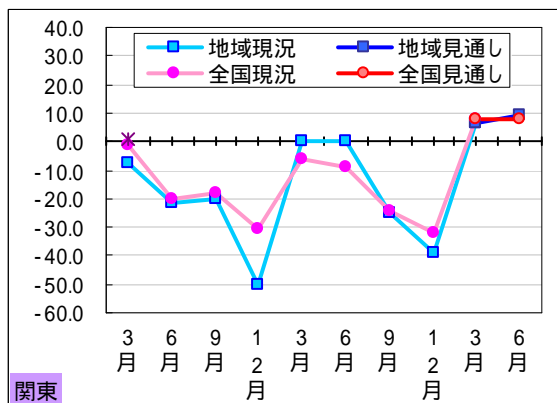
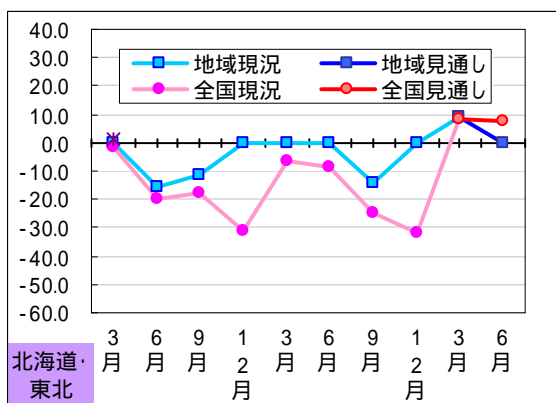
地域別の業況

各地で現況回復。現況、見通しともにマイナス圏なし

現況のDI値は、前回の±0の「北海道・東北」を除いて、マイナス30からマイナス40の範囲に集中していたものが、±0の「中四国・九州・沖縄」を除いてプラス圏に浮上。

見通し(3ヶ月後)については、地域によって差はあるものの、全て±0から14.8の範囲に納まっており、先行きも前2期のような厳しさからは脱却している。

< 地域別 業況 >



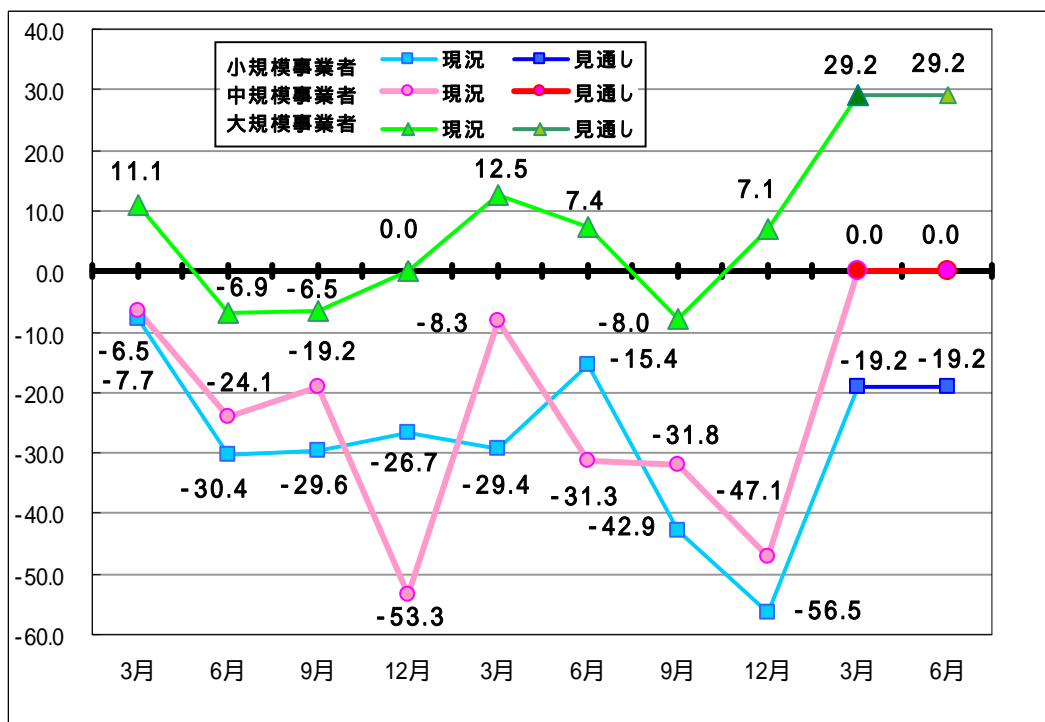
規模別業況

各規模事業者ともに大きく現況回復、小規模事業者のみマイナス圏で推移

現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値マイナス19.2と前回から37.3ポイントの改善。中規模事業者でDI値±0.0と前回から47.1ポイントの改善。大規模事業者はDI値29.2と前回から22.1ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、小規模事業者(マイナス19.2)、中規模事業者(±0.0)、大規模事業者(29.2)と、各規模事業者ともに現況と同数値となっている。

< 規模別：業況の推移と見通し >



注：小規模事業者 = 1 ~ 3店舗 中規模事業者 = 4 ~ 10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

正社員採用、「質」「量」ともに確保は1/4

中規模事業者では5割以上、大規模事業者では7割以上が各対象に向けた採用活用を実施。採用実績は小規模で低い。

平成20年度の正社員の人材採用にあたっては、「新卒採用」から「アルバイトからの採用」までの各対象について、中規模事業者では5割以上の企業が、大規模事業者では7割前後以上で採用活動を実施している。

実際に採用に結びついたのは、「中途採用」では、大・中規模事業者で9割前後、小規模事業者で5～6割前後となっている。「新卒採用」については、大規模事業者で9割、中規模事業者で7割と、規模の大きな事業者での実績が高くなっている。小規模事業者での「新卒採用」については、実施及び採用に結びついた件数が共に1件であった。

「質」「量」ともに確保は1/4。採用期間、費用は6割で予定を上回る。

実際に採用に結びついた人材の「質と量の確保」については、「質」と「量」ともに予定通り確保できた企業は、1/4にとどまっている。

採用期間や費用等の活動結果については、「当初の計画通りに実施できた」は4割弱。6割の企業で、計画よりも多くの時間や費用がかかる結果となっている。

<実施した採用活動>

実施した採用活動	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
新卒採用	50.0%	3.8%	53.7%	95.7%
中途採用（業界経験者）	53.3%	30.8%	56.1%	73.9%
中途採用（業界非経験者）	50.0%	30.8%	53.7%	65.2%
アルバイトからの採用	58.9%	50.0%	53.7%	78.3%
現状維持（採用活動/採用せず）	14.4%	26.9%	14.6%	0.0%

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

<採用に結びついたもの（採用活動実施企業中）>

採用に結びついたもの	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
新卒採用	82.2%	100.0%	72.7%	90.9%
中途採用（業界経験者）	85.4%	50.0%	91.3%	94.1%
中途採用（業界非経験者）	84.4%	62.5%	86.4%	93.3%
アルバイトからの採用	96.2%	76.9%	109.1%	94.4%

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

<質と量についての採用実績評価>

質と量の確保状況	全体
質、量ともに予定通り確保	25.5%
質は満足いかなかったが量は確保	31.4%
予定数は確保できなかったが質は満足	37.3%
質、量ともに満足いかなかった	5.9%

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

<採用期間や費用等の活動結果>

採用期間や費用等	全体
当初の計画通りに実施できた	38.5%
計画よりも多くの時間がかかった	25.0%
計画よりも多くの費用がかかった	21.2%
計画よりも多くの時間と費用がかかった	15.4%

調査結果概要 DATA

規模（店舗数）別

項目	DI 値区分	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-56.5	-19.2	-19.2	-47.1	0.0	0.0	7.1	29.2	29.2
2. 稼働状況（パチンコ）		-40.9	0.0	-4.0	-20.6	22.0	12.5	28.6	50.0	29.2
3. 稼働状況（パチスロ）		-56.5	-38.5	-36.0	-76.5	-47.5	-52.5	-14.3	-18.8	-31.3
4. 資本投入気運の変化（台）		-8.7	11.5	34.6	3.2	18.4	17.9	-23.1	-8.7	-8.7
5. 資本投入機運の変化（設備）		-34.8	12.0	8.0	-29.0	8.1	18.9	-7.7	-8.7	-4.3
6. 営業用設備の不足感		4.3	19.2	23.1	-2.9	-5.0	0.0	-7.1	2.1	2.1
7. 雇用人員の不足感		17.4	57.7	34.6	26.5	45.0	57.5	60.7	41.7	33.3

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

地域別

項目	DI 値区分	北海道・東北			関東			中部・北陸		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		0.0	9.1	0.0	-39.1	6.3	9.4	-42.1	8.7	4.3
2. 稼働状況（パチンコ）		30.0	18.2	9.1	-13.6	25.0	12.5	-5.3	34.8	17.4
3. 稼働状況（パチスロ）		-20.0	-27.3	-36.4	-73.9	-34.4	-50.0	-42.1	-47.8	-47.8
4. 営業用設備の不足感		-20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	-5.3	0.0	8.7
5. 雇用人員の不足感		40.0	27.3	27.3	47.8	62.5	37.5	26.3	52.2	60.9
項目	DI 値区分	近畿			中国・四国・九州・沖縄			営業用設備の不足感、雇用人員の不足感が強いほどに設備投入機運の採用、活用に結びつくものであり、業況は改善に向かうものと判断される		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し			
1. 全般的業況		-31.3	19.0	4.8	-29.4	0.0	14.8			
2. 稼働状況（パチンコ）		-18.8	23.8	10.0	-23.5	35.7	25.9			
3. 稼働状況（パチスロ）		-56.3	-19.0	-15.0	-41.2	-33.3	-40.7			
4. 営業用設備の不足感		6.3	19.0	28.6	0.0	0.0	7.4			
5. 雇用人員の不足感		37.5	42.9	33.3	23.5	33.3	-44.4			

資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	パチンコ業界全体			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査
資金繰り		-22.9	-29.4	-19.3	-50.0	-56.5	-42.3	-23.8	-22.6	-7.7	7.7	0.0	-13.0
貸出態度		-50.0	-29.4	-40.2	-64.3	-39.1	-50.0	-47.6	-32.3	-34.2	-38.5	-7.1	-39.1
借入金利		-19.6	-16.7	-11.6	-7.1	-9.1	-3.8	-21.1	-22.6	-2.6	-30.8	-15.4	-36.4

注：小規模事業者 = 1～3店舗 中規模事業者 = 4～10店舗 大規模事業者 = 11店舗以上

SERVICE

提供商品

Entertainment Business Institute



基礎研究・応用研究

コンサルティング・講演・勉強会

- ・経営支援・人材育成・店舗運営・事業企画・開発

パーラー向け会員サービス「Aclub」

- ・電子メール、FAX 情報提供・会員限定勉強会

出版・研究報告書

- ・パチンコ参加実態調査
- ・駅別乗降者数総覧<年刊>
- ・研究報告書、関連書籍

インターネット・システム構築

- ・社内ネットワーク設計
- ・ホームページ制作、運用支援

カジノ関連

- ・UNLVエグゼクティブセミナー
- ・カジノ視察ツアーコーディネート



**Entertainment
Business
Institute**

株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

<http://www.eb-i.jp>

メール：info@eb-i.jp

電話：03-5688-4751

ファックス：03-5688-5353